

ハ一層獎勵スルノ要アリ而シテ其ノ獎勵方法トシテハ補助歩合ヲ改メ成ルヘク要スル費用ノ負擔ヲ輕減セシムルニアリト信ス

#### 四、住宅ノ改善ヲ促スコト

縣下農村ノ住宅ハ概シテ窓少ク隨テ空氣ノ流通、採光換氣等ニ不良ノモノ多ク又厩舎ト同棟ナルモノ多クシテ其ノ不衛生的ナルコト甚シ故ニ是レカ改善ヲ圖ルハ保健衛生上極メテ緊要ノ事ニシテ所謂改善一般ノ根本問題ニ屬ス然レトモ改善タル一面經濟問題ヲ離レ得ス亦容易ノ業ニアラス故ニ將來家屋ノ建築若ハ改造スルモノニ對シテハ住宅建築制限法ノ如キヲ制定シ以テ衛生的設備ヲラシムルコト亦一面現在ノ家屋ニ對シテハ窓牖ノ増設、擴張ヲ勸奨シ漸次改善ヲ圖ルハ當ヲ得タルモノト認ム而シテ一方住宅建築業者ニ對シ衛生的素養ヲ注入スル爲講習ヲ開催スルコトトセ

#### 五、トラホーム病ノ撲滅ヲ圖ルコト

トラホーム病ノ蔓延ハ國民保健上忽緒ニ附セラレサル問題ニシテ延イテハ國家ノ生産ニ甚大ナル影響アルハ言ヲ俟タス是レカ撲滅ヲ圖ルハ急務ノ事ニ屬ス而シテ縣下ノ狀況ハ本病患者四〇%ノ高率ヲ示ス

本病ノ豫防撲滅ニ就テハ活動寫眞、印刷物等ニ依リ宣傳ニ努メ一面徹底ヲ期スル意味ニ於テ從來

ノ制ヲ更メ國庫補助ヲ増額シテ各町村毎ニ治療所ヲ開設セシムルニアリト思料セララル

#### 六、花柳病ノ豫防撲滅ヲ圖ルコト

本病ノ蔓延ハ都市ノ發展、交通設備ノ發達ト共ニ著シキハ殆ント一般ノ現況ニシテ國家ノ消長ニ關シ寒心ニ堪ヘサルコトアリ、本縣モ亦前述ノ軌ヲ脱シ得ス逐年蔓延ノ狀況ナリ而シテ斯病ノ傳播タルヤ重ニ醜業婦ニアリトハ敢テ喋々スル迄モナシ故ニ之等接客婦ノ健康診斷ヲ容易ナラシムル方法トシテ保健組合ヲ設ケシメ以テ檢徵治療ノ方法ヲ講シ一面思想ノ向上ヲ計ル爲活動寫眞、講演等ヲ開催スルヲ肝要ナリト信ス

因ニ本縣青森市、南津輕郡大鰐町、東津輕郡野内大字淺虫ニ三個所ニ保健組合ノ設ケアリテ毎月二回ノ健康診斷ヲ行ヒ相當ノ成績ヲ擧ケツツアリ又宣傳ニ關シテモ現行シツツアリ

#### 七、各町村ニ保健衛生委員ヲ囑託スルコト

各町村ニ保健衛生調査委員ヲ囑託シ民情風俗ヲ異ニセル部民ノ改善、指導啓發ニ便ナラシム殊ニ住宅ノ改善ノ如キ時宜ニ應シテ勸奨シ又飲料水改良施設督勵ノ如キ等徹底ヲ期スルニ於テ其ノ効果渺カラサルヘシト思料ス

#### 八、體育的運動方法ヲ獎勵スルコト

近時一般ニ運動熱漸ク勃興セムトスル良傾向アルモ實際ノ狀況ハ之等僅ニ一部ノ間ニ限ラレ普遍

的ナラス是レ畢竟運動ニ關スル一般ノ不理解ニ基因スルモノト思考セラル即チ現時社會上相當有カノ地位ニアリ又ハ知識階級ノ間ニ於テモ運動ハ常ニ運動ノ少キ都市民ニ必要ナルモ日常過勞ニ認メラルル迄勞働ニ從事スル農村民ニハ不要ニシテ否、寧ロ有害ナリト唱フル人士モアリ之レ畢竟職業的ノ偏頗ナル勞働ト身體ノ發育ト健康ノ維持トヲ目的トスル保健的運動トノ區別ヲ混同スルカ爲ナリトス

抑モ健康ノ増進ハ人格ノ陶冶、品性ノ向上竝ニ一致團結ノ美德ヲ涵養スルニ於テ寔ニ有効ナリトスヘク、換言スレハ健康ナル身體ニハ健全ナル精神アリト云フヘシ故ニ是レカ普遍的獎勵方法トシテハ地方青年團、處女會等ノ中間團體ヲ善用シ隨時講習會ヲ開催シテ休養ト運動否勞働トノ秩序アル體育運動方法ヲ涵養セシメ順次一般人ニ對スル運動思想ノ向上ヲ圖ルヲ以テ適切ナリト認ラル

## (三六) 山形縣

### 一、衛生思想ノ普及

本縣農村ハ市街地ニ比シ空氣新鮮且ツ社會的刺戟緩徐ニシテ然モ農民日常ノ生活ハ不知不識ノ間ニ筋肉ノ運動充分ニ行ハルルノ狀況ニアリ保健上自然ニ利スル所多キヲ以テ身心兩方面ノ保健狀態良

好ナルヘキ筈ナルニ事實ハ之ニ反シ市街住民ニ比シ乳幼兒死亡率高キ等保健狀態ハ寧ロ劣等ノ現況ニアルハ其ノ重ナル原因寄生蟲、トラホームノ蔓延榮養ノ缺乏飲料水ノ不良、住宅ノ構造設備ノ不完全醫療機關ノ不備其ノ他衛生思想ノ乏シキニ基因スト認ムルヲ以テ左記ニ依リ衛生思想普及ノ要アルモノト認ム

### 左記

1. 衛生展覽會ノ開催
2. 講話會ノ開催
3. 活動寫真ノ利用
4. 印刷物ノ配付

### 二、醫師產婆ノ普及

1. 本縣下ニ於ケル醫師分布狀態ヲ視ルニ全ク醫師ノ開業ナキハ二市二百二十七ヶ町村中實ニ六十八ヶ村ノ多キニ達ス此等ハ何レモ山間僻遠ノ地ニシテ村民ノ治療上甚シキ不便ヲ感シ從ツテ死亡率ノ如キモ市街地ニ比シ遙ニ高シ是等農村保健衛生上最モ注意ヲ要スヘキ點ニシテ醫師ノ普及ヲ圖ルコトハ焦眉ノ急務ナリト認ム

2. 縣下ニ於ケル開業產婆ナキ町村ハ各郡ヲ通シ三十ヶ村ナルカ此等ノ各村ハ醫師ナキ村落ト同シ

ク山間僻遠ノ地ニ多ク妊婦産婦並乳幼児ノ保護上甚シキ不利ノ立場ニテルコト乳幼児ノ死亡率ノ高キニ由リテ推シ得ヘシ故ニ之カ低下ヲ計ルニハ産婆ノ普及ニ俟タサルヘカラス是等ノ醫師産婆ニ對シ相當補助ヲ與ヘテ開業セシメ居ル町村ナキニアラサルモ中ニハ此種ノ方法ヲ實行スルコト困難ナルモノアルヘキヲ以テ國庫若ハ縣ニ於テ適當ノ補助ヲ交付スルノ必要アルモノト認メラル

### 三、飲食物ノ改善(營養問題)

#### 1. 飲食物調理法ノ研究

總テ飲食物ハ其ノ調理方法如何ニ依リ飲食物固有ノ營養價ヲ高メ或ハ之ヲ低下スルモノナルニ一般農家ハ調理ノ知識ニ乏シキヲ以テ飲食物調理講習會ヲ開催シ之レカ知識ノ啓發ニ資スルヲ要ス

#### 2. 肉食ノ奨励

一般農村ニ於ケル食物ハ營養價ニ乏シキ蔬菜雜穀等ノミ多ク脂肪及ヒ蛋白質ニ富ム處ノ肉食ノ量僅少ナルヲ以テ食物改善ノ方法トシテ現ニ農家ノ副業トシテ飼養シアル豚ヲ自家用屠殺ノ範圍ヲ擴メ簡易廉價ニ食用ニ供シ得ル制度ヲ設クルヲ可ト信ス

#### 3. 農家ノ餘乳ノ利用

一般農家ニ雜役牛(牝)ノ飼養ヲ獎勵シ農耕用トシテ使役スル外餘乳利用ノ方法ヲ講シ乳幼児ノ養育其ノ他ノ營養ニ充ツルニ於テハ相當効果アリト信ス

#### 4. 未成年者ノ禁烟、禁酒ノ勵行並一般人ノ改烟、飲酒ノ節制

飲酒喫烟ノ習慣ハ一朝一夕ニシテ之ヲ改ムルコトハ到底不可能ナルモ未成年者等ニ對シテハ現行法ニ基キ禁烟酒ノ取締ヲ勵行シ將來ニ於ケル良習ヲ養フコトニ努メ尙一般ニ對シテハ自制機關ヲ設ケ或ハ宣傳ニ依リ禁節酒ヲ勵行シ喫烟、飲酒ニ依ル保健上ノ障害ヲ除去スルヲ要ス

#### 四、飲料水ノ改善

縣下ニ於ケル飲料水検査ノ結果ニ依レハ不良水ハ百分中三八・一〇ヲ示シ殊ニ平地及沿海地方ハ比較的の不良水多キ狀況ニ在リ地方ニ依リテハ溝渠ノ流水ヲ飲用ニ供シアルカ如キ保健衛生上ニ及ホス影響少ナカラサルノミナラス流水使用ヨリ傳染病ノ流行ヲ來スノ實例アル等保健防疫兩方面ヨリ考察シ其ノ改善ヲ圖ルハ洵ニ喫緊ノ事ナルヲ以テ飲料水改善ニ關スル費用ニ對シテハ相當ナル補助ヲ與ヘ其ノ實現ヲ期スルノ必要アリ本縣ニテハ農村ノ實情ニ鑑ミ縣費補助ノ規定ヲ設ケ簡易水道ノ布設並飲料水井ノ新設濾過裝置等ヲ勵行シツツアリ

#### 五、住屋ノ改善及清潔維持

農村ニ於ケル住宅ハ其ノ構造非衛生的ノモノ多ク殊ニ採光換氣ノ不充分ナルモノ若ハ土間ニ蓆類ヲ敷キ居住スル者等多キ状態ニアルヲ以テ此等ノ點ヲ改善スルト同時ニ地方ニ依リテハ寢床ヲ敷キ通シタル儘日々之ヲ改ムルコトナク所謂萬年床ノ稱アルヲ以テ此ノ陋習ヲ改善スルノ要アリト信ス其

他厩舎、便所ヲ屋外ニ設ケ堆肥場ノ構造並位置ニ付適切ノ方法ヲ講スル等住屋内外ノ清潔維持ニ注意ヲ拂フヲ要ス

## 六、乳幼児並妊産婦ノ保護

### 1. 乳幼児保護

乳幼児ヲシテ健全ナル發育ヲ遂ケシムルニハ育兒上ノ衛生ニ遺憾ナキ注意ヲ拂ハサルヘカラス然ルニ一般農村ニ於ケル婦人ノ多クハ育兒衛生上ノ知識ニ乏シキノミナラス日々農耕ノ勞作ニ追ハレ充分ニ乳幼児ノ哺育ニ力ヲ注クコト不可能ナルモノ多シ農村ニ於ケル乳幼児ノ死亡率高キハ恐ラク如上ノ原因等與ツテカアルモノナラント思料ス仍テ各町村ニ乳幼児健康相談所、托兒所等ヲ設置シ此等ノ保護ヲ完全ナラシムルヲ要ス

### 2. 妊産婦ノ保護

農村ニ於ケル勞力ノ分配ハ年々定マリアルノミナラス其ノ供給ハ年ト共ニ不足ヲ來シツツアリ殊ニ農業ハ其ノ餘剩極メテ僅少ナルヲ以テ可成雇人ニ對スル支出ヲ節シ經營スルノ方針ヲ執リツツアルヲ以テ妊産婦ト雖勞働ニ堪ユルモノハ出テテ農耕ニ從事シ妊娠時又ハ産後ニ於ケル衛生上ニ付テハ之ヲ顧ル餘裕ナキモノ少ナカラサル實況ニ在リ故ニ婦人衛生ニ關スル講習又ハ講話會ヲ開催シ知識ノ涵養ヲ圖リ又ハ婦人健康相談所ヲ設ケ保護方法ヲ講スルヲ要スト信ス

## 七、寄生蟲ノ驅除

農村ニ於ケル寄生蟲ノ蔓延ハ其ノ生活關係ヨリ都市居住者ニ比シテ著シク多ク從ツテ體位ヲ低下セシメ各種疾病ニ對スル抵抗力ヲ減退セシムルヲ以テ之レカ豫防撲滅ハ農村ニ於ケル保健衛生改善上最モ必要ナル事項ナルヲ以テ一般農村ニ對シ徹底的ニ之ヲ實行スルノ要アルヲ認ム依ツテ從來ノ通リ國庫補助ヲ交付セラレンコトヲ望ム本縣ニ於テハ一般ニ對シ講話ヲ以テ宣傳シ且驅除劑服用ノ方法ヲ以テ寄生蟲ノ驅除ヲ實行中ナリ

## 八、各種傳染病豫防施設ノ完備

### 1. トラホームノ豫防撲滅

現下農村ニ於ケル大正十二年中ニ於ケルトラホーム患者ハ檢診百ニ對シ約十二人半ノ割合ヲ示シ現在ノ治療施設ニ依リテハ未タ患者ノ減少ヲ見サル實況ニ在リ而シテ農村ニ於ケル生活狀態ハ此等ノ豫防撲滅ニ甚タ不適當ナルモノアルヲ以テ之レヲ改善スルト共ニ市町村ニ於ケル治療ヲ徹底セシメ豫防撲滅ヲ期スルヲ要ス

### 2. 花柳病ノ豫防撲滅

本病ノ如キハ病性上豫防撲滅甚タ至難ノモノナルモ極力其ノ病毒ノ恐ルヘキヲ宣傳シ一般人ノ自覺ヲ促シ一面賣笑婦ノ取締ヲ勵行シ以テ之レカ豫防撲滅ヲ圖ルハ保健上重要ナルコトト信ス

3. 急性傳染病ノ豫防撲滅

急性傳染病ノ豫防撲滅ニ付テハ多大ナル努力ヲ爲シツツアル處ナリト雖モ年々多數ノ患者ノ發生ヲ見ルハ未タ一般衛生思想ノ幼稚ナルノミナラス市町村ニ於ケル豫防施設ノ不充分ナル等其ノ原因少ナスラス依ツテ一般衛生ノ普及ヲ圖ルト同時ニ市町村等ニ於ケル豫防施設ヲ完備シ以テ目的ノ達成ニ努ムルヲ要ス

4. 結核ノ豫防撲滅

結核豫防法令ノ勵行其他私設團體ノ活動、結核消毒所ノ設置利用等ヲ促シ豫防撲滅ノ方法ヲ講スルニ在リトス

九、體育運動ノ獎勵

運動競技ノ獎勵ハ嘗ニ體育上効果アルノミナラス娛樂機關ノ缺如セル農村ニ在リテハ有意義ナル娛樂ニシテ一面體育上多大ノ効果ヲ與フルト共ニ近時淫蕩ノ風アル農村青年子女ノ風紀矯正上亦尠ナカラサル効果アリト認メラルルヲ以テ各種團體ヲ督勵シ大ニ體育運動ヲ盛ナラシムルハ肝要ナリト認ム本縣ニ於テハ如上ノ趣旨ヨリ本年七月中五日間ノ期間ヲ以テ運動獎勵講習會ヲ開催シ運動競技ノ指導者ヲ養成シ之レカ普及獎勵ニ努メタリ

十、衛生主任者ノ養成

地方衛生行政ノ一部ヲ擔任シ且ツ農村民衆ニ最モ善ク接觸シアルモノハ警察官吏ナルヲ以テ此等ノ警察官吏ヲシテ農村衛生ノ善良ナル指導者タラシムルニ於テハ相當効果アルヘキモノト認メ本縣ニテハ從來如上ノ趣旨ニ依リ縣下ニ於ケル大ナル警察署ニ衛生事務終了者ヲ配置シ衛生主任トシテ事務ヲ取扱ハシメツツアルカ其ノ成績見ルヘキモノアルヲ以テ將來之ヲ各署ニ配置スヘク計畫中ナリ

(二七) 秋 田 縣

一、農村ニ於ケル住民ノ寄生蟲保有者ニ對シ徹底的驅除ヲ行フコト

二、家屋ノ構造殊ニ採光通風ヲ充分ニナシ尙多年ノ弊風タル所謂萬年床ヲ廢シ家屋内外ノ塵埃ノ除却ヲナスコト

三、農村ニ於ケル乳幼児死亡率高キハ其原因多カランモ就中妊婦產婦ノ不攝生育兒法ノ不適當ナルニヨルコト少ナシトセスサレハ右ニ對シ知識ノ普及ヲ測リ保護ヲ加フルコト

四、農村ニ於ケル醫師產婆看護婦ノ充實尙物質上優遇ヲナスコト

五、農民ニ一般衛生思想ノ普及ヲ徹底ナラシムルコト

農村保健状態ノ改善ハ宣傳、講習、講話其ノ他ノ方法ニ依リ衛生ノ重スヘキヲ知ラシメ改良スヘキ施設ニ對シ極力改善ヲ促シ一面出來得ル限り多クノ補助ヲ爲ス事而シテ現今農村ニ於テ改良ヲ要スル重ナルモノハ次ノ如シ

一、住宅ノ改良

家屋ノ構造ハ概シテ床低ク換氣、採光不充分、便所、臺所ノ不完全、居室、寢室等ノ位置不良ナルモノ多ク保健衛生上遺憾ノ點多シ故ニ之レ等ノ改良ノ必要ナル事ノ宣傳スルト同時ニ改造、改築、建築等ノ際ニハ衛生ニ關係アル職員ハ直接指導ノ任ニ當リ衛生的設計等示ス事爲メニ衛生課ニハ建築技師ノ專任者ヲ置ク必要アリ(不止得兼任ニテモヨシ)

一、體育機關ヲ設置シ之レヲ獎勵スル事

積極的ニ體育ヲ獎勵スルハ保健上最モ大切ナル事言ヲ待タス故ニ内務省ニモ府縣ニモ之レカ指導ノ任ニ當ルモノヲ置キ市町村ノ之等事業ニ對シ督勵設計指導ヲ爲シ公園、運動場、水泳場、小公園等ヲ多ク作り日常運動ヲ爲ス習慣ヲツクラシメ強健ノ國民ヲ養成スル事

一、服裝ヲ改良スルコト(常用)

男女共ニ衣服ノ改良ヲナシ起居動作ヲ便ナラシメ直チニ運動スルニモ着換サルモ宜シキ様ノ服裝ニ改メ一面運動ヲ獎勵スレハ運動ノ習慣ヲツクルニ便ナルノミナラス起居動作便ナル爲メ機敏トナリ能率ヲ向上セシムルニモ可ナルヘシ

一、飲食物ニ關スル知識ヲ與フルト共ニ配給ノ施設ヲ爲ス事

農民ノ榮養ニ關スル知識ハ一般ニ甚ク缺乏セリ殊ニ農民ハ全ク其知識ナシト云フモ過言ニアラサルヘシ其ノ日常ノ副食物ノ甚ク粗末ニシテ殆ント動物性食品ヲ用ヒス爲メニ榮養不良ニ陥ラシメ殊ニ發育盛ナル兒童榮養不良ハ重視セサルヘカラス又乳幼兒ノ榮養不良ニ依ル死亡多キハ母體ノ榮養不良ノ爲メ乳汁分泌ノ不足ヲ來シ幼稚ナル人工榮養ヲ與フルニ基因スルモノナリ故ニ本縣ニ於テハ早クヨリ主婦處女ヲ招集シテ衛生講習會ヲ開催シ榮養育兒法看護法妊産婦ノ攝生等ノ知識ヲ普及セシムヘク努メツツアリ今後一層ノ努力ヲナスト共ニ適當ナル動物生食品ノ供給ヲ圓滑ナラシムル爲メ購買組合其ノ他ノ施設ヲナサシムル事中學校生徒ノ中食ノミニテモ學校ヨリ供給スル方法等モ可ナラム

一、上水下水ノ改良

農村ノ多クハ井水、河水ヲ使用スルモノ多ク井水ト雖モ下水、汚水溜、便所、堆肥等トノ距離其ノ他ノ關係ヨリ汚染セラルルモノ尠カラス爲メニ農村ニ於テハ寄生蟲保有者多數ヲ占メ傳染病ノ流行



モ猛威ヲ極ム依テ簡易水道ノ布設シ得ル所ハ之レヲ獎勵シ然ラサル所ハ井戸ト堆肥、汚水溜、下水、便所等ノ距離ノ制限ヲ爲ス事

下水ノ停滯ハ上水土地ヲ穢シ蚊族ノ發生地トナルヲ以テ完全ナル下水ヲ要求スルモ之レヲ農村ニ設置セシムルハ目下困難ナルモノアレハ少ナクモ流通ヲ圓滑ナラシメ濕潤セサル構造ニ改メシムル事

一、尿尿ノ處分及汚物處置ノ改善  
農村住民ノ約八割五分強(本縣調査)ハ寄生蟲保有者ナリ依テ之レカ原因タル寄生蟲ノ驅除ヲ行フハ勿論ナレトモ又排泄セラレタル蟲卵ヲ絶滅セシムルハ又必要ナレハ尿尿處分ノ方法ヲ講シ取締ヲ勵行スル事

汚物ノ處置ニ對シテハ必要ニ應シ汚物掃除規定ヲ準用シ清潔保持ニ努ムル事

一、僻陬地ニ醫師産婆ヲ公設セシムル事

醫師産婆ハ多ク都市ニ集中シ農村ニ尠ク殊ニ僻陬地ニハ絶無ノ状態ニアリテ不便少ナカラス之レカ爲不慮ノ際ニ蒙ル禍ハ決シテ尠カラズ又出産時ノ取扱不充分ナル爲メ乳兒、嬰兒ノ死亡亦大ナリ然レトモ之レ等ノ土地ニ開業スルモ收支償ハサル爲メ開業スル者ナシ依テ醫師、産婆ヲ公設シテ之レ等ノ缺點ヲ補充スルヨリ外ナカルヘシ

## (三九) 石川縣

一、衛生組合ニ關スル特別法令制定シ農村衛生ノ自治的振興ヲ圖ラシムルコト

明治三十年傳染病豫防法ヲ設ケラレ第二十三條ニ地方長官ハ衛生組合ヲ設ケ清潔方法消毒方法其ノ他傳染病豫防救治ニ關シ規約ヲ定メシメ之ヲ履行セシムルコトヲ得ト規定セラレ其ノ後各地ニ衛生組合ノ設立ヲ見テヨリ既ニ二十年ヲ經過セリ今各府縣組合ヲ見ルニ其ノ規約中定ムル處多クハ傳染病豫防救治ノ範圍ヲ出テス其ノ後社會進運ニ伴ヒ衛生組合トシテ施設スヘキ事項益々多キヲ加ヘ寄生蟲ノ驅除マラリヤ豫防妊産婦ノ保護乳兒ノ依託ノ如キ社會的施設ト相俟テ組合ノ施設計畫スヘキ事項益々繁多トナリ現今ノ組合制定ニテハ到底時代ノ要求ニ應シ國民保健ノ實ヲ擧クルニ適セス又一面其ノ經費ハ傳染病豫防法ニ依リ補助ヲ受クルノ關係上事業ノ範圍モ自ラ制限セラルルノ嫌アルノミナラス其ノ經費徵收ノ途モ確實ナラス現在組合ノ多クハ町村ヨリ受クル小額ノ補助ノミニテ事業ヲ行フヲ以テ其ノ充分ナル活動ヲ見ル能ハサルハ當ニ理ノ然ルヘキナリ加フルニ町村役場ニ於テハ各種ノ事務繁多ニシテ町村衛生事務ハ僅ニ一名ノ吏員アルニ止マリ夫スラ專任ナラスシテ他ノ

事務ヲ兼タルモノ多キノ狀況ニシテ衛生組合亦上記ノ如クナレハ農村ニ於ケル衛生施設計營ノ基礎確實ニシテ相當權威アル組合ヲ設立セシメ農村保健狀態ノ改善ノ爲メ自治的發展ニ資セシムルヲ急務ナリト信ス

今現在衛生組合ノ不振ノ原因ヲ主ナルモノヲ擧クレハ

- 一、組合ニ與ヘラレタル權限ナキコト
  - 二、經費ノ強制徵收ノ途ナキコト
  - 三、經費小額ナルコト(多クハ組合費ヲ徵收セス)
  - 四、組合ニ權限ナキ爲メ役員其ノ人ヲ得ス組合ノ權威乏シク爲メニ組合員規約ヲ履行セサルコト
- 故ニ獨立ノ法令ヲ以テ次ノ如ク規定セハ組合ノ實ヲ擧クルニ比較的効果アラムト信ス
- 一、法令ヲ以テ衛生組合ノ設立ヲ強制スルコト
  - 二、組合ニ人格ヲ與ヘ之レニ權限ヲ賦與スルコト
  - イ、市町村、郡、縣等ニ建議スルコト
  - ロ、市町村會ニ臨ミ衛生ニ關スル意見ヲ開陳スルコト
  - ハ、起債スルコト
  - ニ、經費ヲ徵收スルコト

ホ、傳染病豫防法中豫防委員ノ權限ヲ衛生組合ノ或ル役員ニ變更スルコト

(起債ト經費徵收ノ權限アラハ一大字ニシテ簡易水道モ設ケラルヘク産婆雇傭モ共同浴場衛生組合立診療所モ興ルヘク農繁期ニ於ケル乳兒預所飲料水下水ノ改良消毒所ノ設置等ノ事業モ勃興スヘキナラム)

三、役員選舉ノ方法ヲ定ムルコト

(知事ハ醫師、藥劑師、市町村吏員郡縣ノ官吏中其ノ他衛生ニ特別ノ知識アリト認ムル者ニ特別議員ヲ命スルコトヲ得ルコト)

四、郡縣等ノ組合會ヲ組織セシムルコト

五、市町村費縣費ヲ以テ補助ヲ與フルコト

二、寄生蟲ノ驅除並豫防ニ關スル施設ヲナスコト

寄生蟲ノ検査及驅除ヲ行フモ現今ノ農村ノ狀態ニテハ再感染ノ機會少ナカラス一面驅除ノ勵行ト共ニ更ニ之カ再感ヲ豫防スル根本的施設ヲ爲スノ要アリト考フ

イ、人糞ヲ肥料トスルトキノ取扱ニ一定ノ制限ヲ設クルコト

ロ、野糞ヲ禁止シ耕作地ニ共同便所ヲ設置セシムルコト

ハ、水田ノ耕作ニゴム靴ゴム手袋等ノ使用獎勵



ニ、河川ノ水ノ飲食用ニ使用禁止ノ方法ヲ講スルコト

以上ノ如キ方策ハ衛生局ニ於テ之レヲ制定スルコト

### 三、農村住宅並飲料水ノ改良ヲ計ルコト

農村ニ於テ尙未タ溪流ノミナラス人家ノ間ヲ流ルル水ヲ使用シ甚シキニ至リテハ其ノ水ヲ飲用スルモノアリ共同掘抜簡易ナル水道等ノ施設ノ必要ヲ認ムルコト多キモ資力之ニ伴ハス又農村ノ住宅ハ衛生上不良ナルモノ多シ此等ニ對シ今後ノ建築ニ就キ注意ヲ與フルハ勿論ナルモ現在既設ノ建物ニ對シテモ採光換氣、便所ノ位置構造等不良ナルモノ殊ニ下層民ニ之レヲ見ルコト多シ

此等ハ前項ト相俟テ共ニ行フヘキモノニシテ最低利ニシテ且ツ長期ナル資金ヲ貸下ケ衛生組合(第一項ノ如キ有力ナル組合ヲ設ケテ)ヲシテ之レニ當ラシムルカ又ハ町村費ニテ補助ヲ與ヘシメテ改良ヲ獎勵シ之ニ府縣費ヲ以テ補助シ其ノ費用ニ對シ國庫ヨリ補助スルノ方策ヲトリ漸次改良ノ實ヲ舉ケシムルヲ必要トナス

乳兒ノ如キモ現在ノ不良ナル住宅ニテ罹病スルモノ肺結核ノ蔓延ノ如キ住宅不良ヨリ來ルモノモ尠キニアラサルヘシ

### 四、醫療機關ノ普及

醫師產婆等ノ普及ハ充分ナラス市街地ニ多ク農村ニ稀ク人口ノ少ナキ土地ノ不便ナル地ハ新開業ナ

リ又雇入レムトスルモ來ルモノ少ナキノ憾アリ然レトモ此等ハ公費ニテ設置スルカ又ハ補助シテ之レカ普及充實ハ保健狀態ノ改善上必要ナリト認ム少シク重病ナレハ醫師ヲ他村ニ求メサル可ラス中流以下ノ家庭ニテハ餘程ノ重症トナル迄ハ賣藥其ノ他ニテ治療シ遂ニ不治ニ陥リ又ハ病毒ヲ周圍ニ散蔓スルモノ等ノ實例少ナカラス

### 五、體育娛樂機關ヲ設ケ公休日ヲ定メシムルコト

村ノ青年、少年ハ勿論中年者モ婦人モ共ニ娛シミ且ツ體育的ナルモノヲ内務省ニ於テ考案セラレタシ益踊ノ如キ(夏季丈ナルモ)モノニテ四期通シテ行ヒ得ル様改良セハ此ノ兩者ヲ兼ネシモノナラムカ何カ適當ナル體育的共同的娛樂機關ヲ農村ニ興スコトヲ考ヘラレタシ殊ニ農村婦人ノ運動ノ適切ナルモノヲ考案スルノ要アルヘク農村ニ公休日ヲ設クルコトハ該機關ノ設立及其ノ利用並ニ農民ノ休養ニ必要ナルモノナラン

## (三〇) 富山縣

農村衛生狀態改善ニ關シ施設ヲ要スヘキ事項少カラスト雖モ特ニ緊要トスルハ左ノ各項ナリト信ス

### 一、寄生蟲病豫防

農村ニ於ケル寄生蟲蔓延ノ著シキハ事實ノ證スル處ニシテ農民ノ體格劣等勞働能率ノ低下ヲ來シ農

村ノ前途憂慮ニ堪エサルモノアリ而カモ人糞肥料處分問題ノ解決セサル限り之カ根本豫防策ヲ發見スルニ苦シムト雖モ當面ノ消極的豫防策トシテ衛生局竝各地方廳ニ於テ之レカ豫防驅除ニ關スル特殊ノ機關ヲ設ケ出來得ヘクンハ毎年一回農村民全般ニ對シ糞便検査ヲ行ヒ之レカ驅除ヲ計ラハ寄生蟲ノ害毒ヲ防過シ以テ農村民ノ體位ヲ漸次向上シ得ヘキモノト思料ス

## 二、産婆ノ養成並配置

農村ニ於テ死産乳幼児死亡ノ多キハ妊産婦育兒ニ關スル知識ノ缺乏セルニ基クト雖モ一面産婆ノ普及セサルモ重大ナル關係ヲ有スヘク思考セラルルヲ以テ國費又ハ地方費ヲ以テ各地ニ産婆養成所ヲ設置シ學費ヲ給與入所セシメ卒業者ヲ指定地ニ居住セシメ妊産婦ノ保健並育兒上ノ注意ヲ與ヘ以テ現在ニ於ケルカ如キ不注意ノ爲メ流産死産乳幼児ノ死亡並妊娠ノ爲ニ起ル疾病ヲ豫防シ延テ村民體位ノ向上ニ資スルハ忘ルヘカラサル事ニ屬スト思料ス

## 三、衛生思想ノ普及

公衆ノ健康ヲ増進シ患者ヲ減少セシムヘキ各般ノ施設ハ衛生思想ノ普及發達ト相俟ツテ其ノ完璧ヲ期シ得ヘキモノニシテ飲料水ノ不良榮養ノ缺陷住宅ノ不適等衛生的知識ノ増進ト共ニ漸次改善セラルルモノナリト雖モ現時各府縣ニ於テ普ク開催セラルル講話會、展覽會、活動寫真會、演劇等ハ既ニ陳腐ニ屬シ公衆ノ之ニ會同スルハ甚タ尠ク殆ト強制的ニ出ツルニアラサレハ入場者ヲ見ル能ハ

ス其ノ効果亦疑ハシキモノアリ之カ徹底ヲ期セント欲セハ何等カ常ニ嶄新ノ方法ヲ講シ極メテ平易ニ一般民衆ノ腦裡ニ衛生思想ヲ印セシメサルヘカラス而シテ比較的效果著シキモノハ小學校兒童中等學校生徒ニ對シ衛生上ノ訓育ヲ爲スニアリ即チ學校ニ於ケル教科書中衛生ニ關スル事項ヲ多ク登載シ或ハ科外講演等ニ依リテ衛生上ノ知識ヲ扶殖スルカ如キハ尤モ適例ニ屬ス其他一般民ニ對シテハ専ラ家庭ノ主婦ヲ對照ト爲シ衛生講習會等ヲ開催セシムルヲ可トス只講演會講習會等ニアリテ實行シ難キ理想論ヲ吐クカ如キハ大ニ注意ヲ要ス須ク容易ニ實施シ得ヘキモノヨリ漸次進入スルノ要アリ殊ニ翻譯的講演又ハ施設ノ如キハ慎マサルヘカラス尙宣傳ポスターハ各地ニ流布セラルト雖モ其ノ多クハ細密ニ過キ却ツテ其ノ効果ヲ減殺スルカ如キモノ少カラス考慮ヲ要スヘキモノト思料ス要スルニ衛生思想ノ普及發達ハ最モ急務トスル所ニシテ然カモ之レカ聲ヲ大ナラシメント欲セハ單ニ地方廳ニ於テ又ハ各村部落ニ於テ開催スル各種ノ施設ノミナラス本省ニ衛生思想普及指導獎勵員ヲ設ケ常ニ各地ノ狀況ヲ視察スルト共ニ進ンテ普及宣傳ニ努ムルノ方法ヲ講スルハ時宜ニ適シタモノト信ス

### (三) 鳥取縣

#### 總論

本縣ノ地形ハ東西ニ長ク南北ニ狹ク南ハ一帶ニ陰陽兩道ヲ阻隔スル中國山脈ヲ以テ限ラレ東ハ高峰ヲ以テ但馬ト境シ山岳重疊シ地勢ハ南ニ高ク北ニ低シ而シテ千代川及主ナル河川ハ南ニ發シ北流シテ日本海ニ注ク

之等ノ河川ハ何レモ砂礫河床ニ沈積シ水深頗ル淺ク加之近年山林ノ伐採甚シキ爲メ夏期屢々洪水アリ附近ハ被害甚シク恐ラク水害ノ大ナル他縣ニ其ノ例ヲ見サル狀況ナリ

氣候ハ比較的溫暖ニシテ冬期平均氣溫華氏四十度夏期七十五度ニテ日本海ニ面セル各縣中比較的晴天多ク雨雪ノ量少ク一般ニ健康地ト稱スルヲ得ヘシ

而シテ本縣ノ職業別ヨリ見ルニ他ノ多ノ縣ト同様ニ農業主ニシテ本縣ノ戶數八萬四千四百六十二戶人口四十五萬九千九百人中農業ヲ營ムモノ戶數五萬七千九百九十戶、人口三十一萬三千九百七十八人ニシテ之ヲ細別スルニ自作農一萬一千二百六十六戶人口六萬三千八百九十六人自作兼小作二萬四千九百

九十八戶人口十一萬九千八百三十九人小作二萬四千九百九十八戶人口十三萬二百四十三人ニシテ本縣ノ總戶數人口ノ六十八%ニ相當ス即殆本縣住民ノ三分二以上ニ達ス斯ノ如クナルヲ以テ農村保健衛生ノ改善ハ要スルニ本縣保健衛生ノ改善ト見ルヲ得ヘシ左ニ農村保健衛生ノ各種ノ調査ニ依テ得タル材料ヲ資トシテ其ノ改善ノ意見ヲ記セントス

#### 一、衛生組合ノ活動

現今農村衛生ノ改善ヲ計ラントスルニハ各村設ケラレタル衛生組合ノ活動ハ最も重要ナル事項トス而シテ本縣ニ於ケル衛生組合ノ狀況ハ町ヲ基礎トシテ組成セル組合數四、村ヲ基礎トシテ組成セル組合數一〇八、字ヲ基礎トシテ組成セル組合數七九六、一ヶ年豫算村ヲ基礎トセルモノ七六〇〇〇字ヲ基礎トセルモノ二八六〇〇〇ニシテ一組合僅ニ四十錢弱ニ相當スルヲ以テ見ルモ現今ノ衛生組合ノ有名無實ニシテ何等活動セサルヲ知ルコトヲ得ヘシ

從テ農村改善ノ一步トシテハ先ツ衛生組合ノ活動ヲ策セサルヘカラス其ノ方法トシテ現今ノ狀況ヲ見ルニ未自治觀念乏シク衛生活想幼稚ニシテ各組合共其ノ組合員ニ於テ應分ノ酬金ヲ爲シ之ヲ經費ニ充テ活動セントスルモノ等ナキ狀態ナルヲ以テ衛生組合法ヲ制定シ費用徵收權ヲ附與シ且國費及地方費ヲ以テ相當補助金ヲ交附スル等組合ヲシテ活躍ノ資源ヲ確立セシムルニ如カス而シテ其ノ事業トシテハ傳染病豫防ニ關スルコト、保健衛生ニ關スルコト、國民體力増進ニ關スルコト、衛生思

想普及ニ關スルコト、清潔法實施ニ關スルコト、衛生ニ關スル調査研究ニ關スルコト等ヲ其ノ主ナルモノトスヘシ

## 二、衛生思想ノ普及向上

我國ニ於ケル農村ハ一般ニ未文化ノ程度低ク衛生思想又幼稚ナルモ殊ニ本縣ハ久シク交通ノ便ヲ缺キ漸ク近年ニ至リ鐵道ノ關西及中國トノ貫通ヲ見タルカ如キ狀況ニシテ衛生思想極メテ幼稚ナルヲ以テ之カ向上普及ヲ計ルハ最モ急務トス

而シテ其方法トシテ先ツ小學校ニ一般衛生ニ關スル科目ヲ増加シ近キ將來農村ノ中堅トナルヘキ兒童ニ衛生ノ教育ヲ施スヲ最モ適當ノ方法トス其他農村ノ行政機關中ニ相當ノ素養經驗アル者ヲシテ專任衛生主任タラシメ常ニ衛生ノ指導監督ヲ行ハシメ或ハ又學校其他ニ學校看護婦又ハ巡回看護婦ノ如キヲ置キ常ニ家庭ヲ巡回訪問セシメ家庭衛生ノ擔任者タル主婦ニ對シ衛生思想ヲ啓發指導シ以テ其向上ヲ計ル等モ亦一方法ナリトス

## 一、生活改善程度ノ向上

本縣ハ現ニ多額ノ縣債ヲ負ヒ縣財政ノ窮乏ニ加フルニ優秀ナル産業少ナク一般縣民ハ疲弊困憊ノ狀況ナルヲ以テ勢農村ノ經濟ニ於テモ疲弊又甚シク其村民ノ生活程度低ク特ニ食物ニ於テ甚シキカ如ク常ニ粗食ノ傾アリ且ツ獸肉ノ需用少ク鶏卵魚肉ハ比較的普及セルモ尙ホ甚タ不充分ナリ縣下養豚

盛ナルヲ以テ自家用屠殺ノ範圍ヲ廣メ副食物ヲ改善シ農民ノ營養ヲ佳良ナラシメ勞働能力ヲ増進シ

一方産業ノ獎勵ニヨリ農村經濟ヲ豊富ナラシメ衛生ニ關スル設備ノ充實ヲ計ルコトモ亦最緊要ノコトナリトス

## 一、醫療機關ノ充實

醫育機關ノ完備ト共ニ漸次各村ノ醫療機關ノ充實ヲ見ツツアリト雖モ未不完全ニシテ本縣ノ市町村數百八十九ニ對シ開業醫ナキ農村五十四ヶ村ニ達スルカ如キ狀況ニシテ總テノ疾病ニ對スル處置充分ナラス此間僅カニ賣藥民間藥ニ依リ所謂手療治ニ任セ或ハ無稽ナル迷信等行レ易ク又産婆看護婦等モ亦配置充分ナラサルヲ以テ村醫ノ設置産婆ノ充實ニ就テハ又急務トス

## 一、飲料水ノ改善

本縣ニ於ケル飲料水ノ狀況ヲ見ルニ總戸數七二、六八九戸ニ對シ井戸ノ數僅ニ一七、三二六簡易水道六水道一ニシテ又夏期ニ於テ飲料水ノ種類ニ依テ使用戸數ヲ見ルニ井水ヲ使用スルモノ四萬八千七百五十三戸河水ヲ使用スルモノ八、七八八溪水ヲ使用スルモノ一四、五四二河水溪水ヲ使用スルモノ二、三三〇ニ達シ現戸數ニ對スル32%ニ當ル如キ狀況ニシテ且又井戸水ト雖モ未善良ノモノ非ラズ斯ノ如キハ傳染病豫防上ハ素リ保健衛生上ヨリ見ルモ危險ニナルヲ以テ簡易ナル水道ノ設置ヲ獎勵スルト共ニ飲料水ノ改善ヲ急務トス

## 一、體育運動獎勵

本縣ハ一般ニ體育運動盛ニシテ各職業及年齡階級ニ亘リ相當ノ趣味ヲ持チ大ニ誇トスル所ニシテ壯丁検査ニ於テ常ニ優秀ノ成績ヲ收ムルハ主トシテ體育運動獎勵ノ結果ト見ラル然シ往々農閑期ニ於テ屋内ニ熟居シテ安逸ヲ貪ル傾向アルハ本縣ノ酒ノ消費量多キヲ以テ知ルコトヲ得ヘシ故ニ特ニ冬期ニ際シ青少年ニ對シ屋外運動ノ適當ナルモノヲ指導シ一層體力ノ増進ニ努力ヲ要ス

## 一、傳染病豫防

本縣ニ流行スル傳染病中四季ヲ通シテ發生シツツアルハ腸チフスニシテ毎年五百名以上ノ患者及百名以上ノ死亡者ヲ出シ殊ニ之等ハ農村ニ多キヲ以テ農村衛生ノ改善トシテハ腸チフス豫防モ重要事項ノ一トス而シテ豫防注射ノ勵行ヲ必要トシ之カ實施ヲ容易ナラシムル爲メニ縣費ヨリ豫防注射ニ要シタル費用ニ對シテハ三分ノ一以上ノ補助ヲナシ或ハ傳染病院隔離病舎ノ設備完全或ハ保菌者ノ檢索等適當ノ方法ヲ講スルヲ要ス特ニ現今農村ノ隔離病舎ハ既ニ腐朽シテ終ニハ使用ニ堪ヘサルモノ多ク從テ患者ニシテ入舎ヲ厭フ關係上自宅治療ヲ爲スノ傾キアルノミナラス往々患者隱蔽ノ原因トナル故ニ將來ニケ町村以上組合ニテ病舎ヲ設置シ其ノ設備ノ完全ヲ期セサルヘカラス

## 一、寄生蟲ノ驅除及豫防

一般農村住民ノ總テノ者カ罹レル腸管寄生蟲蛔蟲ハ85%以上十二指腸蟲25%以上ヲ保有シ之カ豫防

撲滅ニ努力セサルヘカラス

現在農村ノ糞便處置ノ狀況ニテハ到底豫防スルコト困難ナルヲ以テ糞便ノ處置方法ヲ周知實セシメ且野糞等ノ如キ惡習ヲ矯正セサルヘカラス驅除ニ對シテハ各自治團體ヲシテ公費ヲ以テ其ノ驅除ヲ實行セシム

## 結 論

之ヲ要スルニ本縣住民ノ大部分ヲ占ムル農村衛生ノ改善ハ最モ喫緊事項ニシテ縣民保健上重大視セサルヘカラス殊ニ從來都市衛生ニ比シ甚シク閑却視ラレタル農村衛生ノ改善ハ最モ急ヲ要スルモノト認ム

## (三) 島 根 縣

一、我國民ノ衛生智識ハ低級ニシテ生活上喫緊ノ衣食住ニ就テモ其當ヲ得サルコトノ多キハ甚タ遺憾トスル所ナリ故ニ衛生智識ノ向上普及ヲ圖ルハ農村保健狀態改良ノ急務ナリ而シテ之レカ向上普及ノ方法トシテハ衛生ニ關スル講演會、講習會、活動寫真會及展覽會等ヲ開會シテ其啓發ニ努ムルヲ



二、農村民衆ノ體育運動ヲ獎勵シ社寺等ヲ中心トシテ公園運動場ヲ設備シ何人ニモ容易ニ運動遊戲ヲ爲サシメ其健康増進ヲ企圖スヘシ

三、日常ノ食物ニ就テハ農村民ハ意外ニ粗惡ニシテ其營養價ヲ疑ハサルヲ得サルモノ多シ農村民ノ總テヲシテ價ノ如何ヲ問ハス營養價ニ富メルモノヲ採ラシムルハ現代ノ農村經濟ニ於テハ不可能ナリ故ニ原料品ノ廉價ニシテ而モ得易ク營養價ニ富メルモノヲ指示シ合理的料理法ヲ教ヘ食品衛生上徒爾ナカラシムルモ一方法ナリ

四、飲料水ノ良否ハ實ニ國民保健ノ根本問題ナリ現代文化ノ賜タル上水道ノ布設ノ如キハ都市ニ接壤スル農村ノミ之レガ恩恵ニ浴スルモ多クノ農村ハ之レカ布設ハ望ムモ得ヘカラス故ニ尠クトモ簡易水道ニ依リ飲料水ノ改善ヲ計リ其他飲用井泉ノ構造設備ヲ改良セシモノニ相當ノ補助金ヲ與ヘル等監督指導ノ要アリ

五、農村ノ住宅ハ今尙古來ノ習俗ニ由リ非衛生的ナルモノ多シ故ニ漸次之ヲ改造シテ衛生的タラシメ起居ノ快感、日光射入ノ適量排烟及換氣ノ良好、臺所及便所ヲ改善セシメ特ニ糞便ハ必ス一定期間一定ノ所ニ溜メ其腐敗ト共ニ寄生蟲卵ノ壞滅ヲ待チ肥料ニ供スルノ習慣ヲ順致セハ其功少ナカラサルヘシ

六、近時工業ノ勃興ニ依リ農村ノ青年男女ハ農村生活ニ甘ンセス有利ノ工場ニ出稼スルモノ續出スルノ狀勢ナルニ工場ノ衛生設備ノ不完全ナルト其作業ノ不衛生ナルトニ依リ肺結核ニ罹リ歸村スルモノ尠ナカラス然ルニ衛生知識ハ低級ニシテ環境又充分ノ攝養ヲ許サズ病症ノ進ムト共ニ病毒ハ散布セラレ農村ニ於ケル「トラホーム」ノ蔓延ハ保健調査ノ實績ニ徴シ其侵害ノ著シキヲ認メ學校生徒接客業者壯丁等ニハ孰レモ檢診治療ヲ督勵シツツアルモ多數ノ村民ハ其侵襲ヲ蒙ルモ治療ヲ等閑ニ附シ其視力ノ何分ヲ失フニ至リ初メテ醫療ヲ受クルモ時既ニ遲キ歎アルハ屢々見ル所ナリ故ニ村民ヲシテ毎年一回自衛的ニ檢診ヲ受ケシメ其撲滅ニ努メシムルノ要アリ

七、農村ニ於ケル「トラホーム」ノ蔓延ハ保健調査ノ實績ニ徴シ其侵害ノ著シキヲ認メ學校生徒接客業者壯丁等ニハ孰レモ檢診治療ヲ督勵シツツアルモ多數ノ村民ハ其侵襲ヲ蒙ルモ治療ヲ等閑ニ附シ其視力ノ何分ヲ失フニ至リ初メテ醫療ヲ受クルモ時既ニ遲キ歎アルハ屢々見ル所ナリ故ニ村民ヲシテ毎年一回自衛的ニ檢診ヲ受ケシメ其撲滅ニ努メシムルノ要アリ

八、農村ハ環境ノ狀態ヨリシテ寄生蟲ノ蔓延濃厚ナルコト又保健調査ノ實績ノ徴スル所ナリ之レカ爲ニ住民ノ健康ハ著シク阻害セラレ殊ニ十二指腸蟲蔓延ニ至リテハ兒童ノ發育ハ遲徐トナリ學業ノ不成績ヲ來シ成人ハ勞働能率ヲ減少スル等其害一層甚クシク之カ豫防撲滅ヲ一齊ニ施行スルハ刻下ノ急務ナリ

九、妊娠分娩育兒ニ就テモ衛生知識頗ル幼稚ニシテ誤レル風習ト迷信ニ囚ハレ憂慮ス可キ點多シ乳兒幼兒ノ死亡率ノ高キモ之レカ一因ヲナセリ之レカ覺醒ヲ謀ル必要ナルハ言ヲ待タザレトモ村産婆ヲ置キ妊娠分娩時ノ處置ヲ普及セシメテ其遺漏ナキヲ期シ尙進ンテ是等知識ノ啓發ニ努メシムルハ其



功果渺ナカラサルヘシ

十、農村保健衛生ノ圓滿ナル發達ヲ期スルニハ村立治療所ヲ設ケ醫師ヲ常置シ醫療ニ努ムルト共ニ衛生各般ノ事項ニ當ラシメ且村民ノ治療費ヲ可及的輕減シ合理的醫療ヲ均シク受ケ易カラシムルニアリ

十一、傳染病院及隔離病舎ハ其建築設備ヲ完カラシメ看護婦ヲ置キ其醫療ノ満足ヲ援ケシムルト共ニ餘暇アルトキハ看護婦ヲシテ他ノ衛生的方面ノ活動ヲ助ケシメ農村衛生ノ十全ヲ計ルヘシ

十二、衛生組合ノ活動ヲ促シ傳染病ノ豫防救治ハ勿論衛生保健ノ事項ヲ攻究實行セシメ農村ノ溝渠排水ヲ修理シ住宅地盤ノ濕潤ナカラシメ塵埃及汚物捨場ヲ設ケ之ヲ燒却シテ肥料トシ以テ住宅及井泉ノ汚染ヲ免レシメ其他火葬場及墓地ノ改良ヲ圖リ河道路路等ニ不潔物ヲ投棄スルノ惡習ヲ去ラシメ專ラ衛生道德ノ涵養ニ努メ眞ニ農村ヲシテ無病長壽ノ樂園タラシムルコトヲ期スヘキナリ

### (三三) 岡山縣

農村保健衛生狀態改善ニ關スル基準調査ノタメ曾ツテ内務省ニ於テ全國ニ亘リ比較的基準地方ヲ選ビ之ニ向テ調査ヲ續行セラレ其ノ結果ニ就テモ大體綜合セラレタル所アリ又各府縣ニ於テ之レニ順應シテ一府縣内ノ或ル村ヲ指定シ同一要件ノ下ニ調査ヲ進メ其今日マテニ得タル各農村ヲ通シテノ缺陷ト

シテ認ムヘキモノトシテ驚クヘキ寄生性疾患ノ蔓延乳幼兒ノ死亡率累進飲用水ノ不良等顯著ナル歸結ヲ得タルカ如シ

而シテ如上ノ點カ共通的ニ認ムヘキ缺陷ナリトシテ之レカ改善ノ急策ト認メラルモノハ

1. 寄生性疾患ノ豫防撲滅ニ付飲用水ノ改善
2. 乳幼兒並母體保護施設ノ完備附醫療補佐機關普及ノ二ヲ以テ最モ急務ナリト信ス

一、寄生性疾患ノ豫防撲滅事業附飲用水改良施設

本邦農村ヲ通シテ寄生蟲病ノ夥多ナルハ今茲ニ改メテ述フルノ要ナク其ノ主因ニ付テモ既ニ明瞭ノ事

トス

而シ乍ラ實際ニ於ケル本邦農村生活カ常ニ水田ニ耕作シ人糞ヲ以テ施肥ノ一資料トシ又一面多クノ野菜生食ヲ行フ以上全ク其ノ生活狀態ニ一大改善ヲ加ヘサルニ於テハ根本ノ解決ヲ遂クルヲ得サルコト勿論ナリト雖モコハ直チニ望ミテ能フヘキコトニアラス故ニ現在ノ生活狀態ニ於テ之レカ豫防撲滅ノ策ヲ樹テサルヘカラス

現在各府縣ニ於テ之レカ帶卵者ノ調査及驅除ニ意ヲ用ヒ國庫ヨリモ相當ノ補助ヲ得テ極力此ノ豫防撲滅ニ努メツツアリト雖事永久ニ亘ル大事業ニシテ加フルニ之レヲ周密ニ行フニハ多大ノ費ト人力トヲ要シ而カモ一旦之レヲ驅除シ終ルト雖同一生活狀態ヲ反覆スルコトニ依テ再ヒ帶卵者トナルノ恐レナ

如斯重要ニシテ又極メテ多大ノ忍耐ヲ要スヘキ事業ニシテ而カモ其ノ影響スル所ハ國民體位ノ向上全般ニ關スル最大要事ナルヲ以テ是レニ對應スル方策亦一様ナラスト雖就中其ノ帶卵率ノ最モ多キ或ル時期ヲ選ビ劃一的ニ調査ヲ行ヒ又驅除ヲ行フコト恰カモ種痘法實施ノ夫レノ如カラシムルモ一方法ナルヘシト思惟ス即チ或ヒハ法令ノカヲ以テ兒童カ一定年齢ニ達スルニ至レハ町村ニ於テ寄生蟲ノ帶卵検査ヲ行ヒ之レカ驅除ニ努メシムルノ方法ニ依ルモ可ナルヘク或ハ法令ノカニ依ラストスルモ權威アル他ノ輕キ方法ニ依ルモ可ナルヘシト思料ス現ニ本縣ニ於テ施行セル農村保健衛生實地調査（大正十年ヨリ十一年ニ亘ル）ノ結果ニ徵スルモ寄生蟲卵保有者ハ實ニ検査人員ノ八三、九三%ヲ示シ其ノ大部分ハ學齡期ノ兒童ニ多ク其ノ比例ハ検査人員ノ實ニ九一、五〇%ヲ示セルニ見テモ學齡期兒童ヲ中心トシテ先ツ少クトモ強キ勸誘ノカニ依リテ驅蟲ヲ始メ累年之レカ施行ヲ行フハ適當ニシテ又一面其ノ驅蟲ノ有効ナル證左ヲ家庭全體ニ及ホスニ至大ノ効果アリト認ム

而シテ其ノ驅除ノ効果ニ付テ見ルモ同シク本縣下吉岡村ニ於ケル實例ニ徵シ蛔蟲ハ六二、三二%鞭蟲ハ六九、五二%十二脂腸蟲ハ九二、三一%蟻蟲ハ一〇〇%蟻蟲ハ七七、七八%ノ治療成績ヲ得タルニ見テモ最モ其ノ効果ヲ認ムルコトヲ得ト信ス

然リト雖斯カル施設ハ單ニ一府縣内ノ利益ヲ増進スルノミニ限ラレタル事情ニアラスシテ殆ント全國的ノ現象ニシテ即チ國民的ノ衛生上ノ缺陷ト謂フモ過言ニアラサルカ如キ狀ニアルヲ以テ現下斯ノ種施設ニ對スル國カ縣ニ對スル補助獎勵セラレツツアル施設ノ方針ヲ一層擴充シテ前記ノ通り法令又ハ其他統一セルカニ依リ劃一的ニ之レカ計畫遂行ヲ進メラレムコトヲ望ムモノナリ

而シテ之レト同時ニ現下謂フマテモナク本邦農村ノ實際生活狀態ニ於テ飲用水ニ留意ヲ拂フコトノ念慮ニ乏シキハ周知ノ事實ニシテ寄生蟲病豫防ノ意味ニ於テモ之レ等ノ改善ヲ施スコトノ急務ナルハ論ヲ俟タス水道條例ニ簡易水道條例ニ此邊ノ改善施設着々進捗シツツアルモ多クハ之レ等ノ適用ヲ受クルモノハ市街地又ハ進市街地ノ住民ニシテ土地隔絶セル田家農民ニ至リテハ特ニ又本縣ノ如ク海岸ニ近キ地方ハ土地平ニシテ河川ノ流向又極メテ平滑ナルモノ多ク耕作田野ノ間ヲ流ルル小河川ノ如キハ其ノ流れ極メテ緩ナルモノ多ク從テ又小河川ノ飲用利用隨所ニ行ハルルカ又ハ沿海ノ地理立地開墾地等ニ居住スル農民ノ如キニ至リテハ全ク飲用水トシテノ適當ナルモノヲ得ス時アツテ井ヲ穿ツモ鹽分多ク飲用ニ堪ヘサルモノ多シト聞ク、或ル地方ノ如キニ至リテハ小溜池ノ如キモノヲ穿チ十數戸ノ住民之レヲ飲用ニ供スル地方スアラリト聞ク故ニ本縣ニ於テハ從來飲料水改良補助規程ナルモノヲ設ケ小部落小字等ニシテ水質極メテ不良ニシテ飲用ニ堪ヘサルカ如キモノノ改善ヲ獎勵シツツアリテ其ノ成績極メテ佳良ナルモノアルヲ認ムルヲ以テ一層之レカ普及實現ニ努メムトスルモ飲用水改善施設事業中殊ニ農村ニ於ケル飲用水改善ニ關スル極メテ小規模ノ施設ニ向ツテ極力改善施設ヲ講スルノ要切

實ナリト信ス

一四六

## 二、乳幼児並ニ母體保護施設ノ完備附醫療補佐機關ノ普及

乳兒幼兒ノ死亡率夥多カ其ノ原因スル所多種多様ナリト雖其ノ最大原因ハ本邦農村ノ實際狀態カ是等ニ對スル實際知識ニ於テ未タ完タカラサルモノアルヲ思ハシムル點多シ之レ等ノ由テ來ル所以ハ母體保護若シクハ乳兒ノ保護ニ關スル知識ヲ得ルノ機會ニ於テ極メテ稀レナルト同時ニ又農村ニ在リテ之等ヲ指導シ若シクハ之レヲ誘導スヘキ機關全ク備ハラサルニ因由スルモノト認ム

今本縣下吉岡村ニ於テ大正十年十一月ニ於テ施行セル農村保健衛生實地調査ノ結果ニ徵スルモ一歳未滿ノ乳兒死亡率ハ總死亡ノ二四、四〇%ヲ占メ全國ニ比シ高率ニシテ其死因ノ如キモ多クハ畸形並ニ先天性弱質ヲ以テ生後一ヶ月未滿ニ死亡セルモノ多キヲ示セリ

又一歳乃至五歳未滿ノ幼兒死亡率ニ就テ見ルモ總死亡一〇、五三%ニシテ大正八年全國ノ六、六四%ニ比シ甚シキ高率ヲ示シ而カモ其ノ死因多クハ消化器系疾病ナルヲ示ス

之レニ反シ六歳以上二十歳未滿ノ者ニ至リテハ體重體格共ニ優レタルモノ多キヲ見ル

之レ等ノ單ニ本縣ニ於テ現ハレタル事實ヲ綜合スルモ其ノ六歳以下ノ幼兒乳兒期ニ於テ甚シキ死亡率ヲ示シ而カモ畸形弱質消化器系疾病等ニ因由スルモノ多キニ想到スルトキハ單ニ一村ノ現ハレタル事實トスルモ茲ニ農村保健衛生施設ノ上ニ於テ此ノ點ニ大ニ留意スルノ要アルモノト思料ス而シテ之レ

カ改善ノ方法又多種アルヘシト雖最モ急ヲ要スル方策トシテハ農村ニ於テ之レニ常住シ常ニ母體保護育兒ニ關スル知識ノ指導ニ任シ兼ネテ實際的ニ活動スヘキ機關ヲ備ヘ指導ニ關スル事務的方面ヨリ實際的行動ニ至ルマテ之レヲ掌理スルノ任ニ當ラシムル機關ヲ設クルノ要甚タ切要ナリト認ム目下地方地方ニ於テモ家庭衛生思想ノ普及等ノタメ町村ノ實際指導ヲ試ミツツアリト雖限リアル地方廳各員ノ力ニテハ單ニ一時的ニ其思想ノ普及向上ヲ計ル位ニ止マリ其地方ニ常住シテ之レヲ指導スルニ至ラス要ハカカル保護思想ノ普及啓發ヨリ一步進ムテ常住的ニ實際的ノ事務的ニ之レガ遂行ヲ計ルヲ以テ最モ適切ナリト認ム

斯カル機關ノ實現ハ農村保健衛生増進上ノ急務ナリト思惟ス

以上ハ單ニ本縣ニ於ケル農村保健衛生實地調査ノ結果現ハレタル事實ヲ基礎トシテノ私案トス之レヲ要スルニ本縣ニ現ハレタル調査ノ結果ニヨレハ本邦農村保健衛生上ノ缺陷中其最モ顯著ナルモノハ

### 1. 寄生性疾患ノ蔓延

附、豫防思想ノ普及不全、飲用水ノ不良

### 2. 乳兒、幼兒ノ死亡高率

ト認メラルル點多ク之レニ對應スヘキ策トシテハ

一四七

1. 寄生蟲病調査驅除施設ノ擴充及飲用水改善施設
  2. 乳幼兒母體保護施設ノ設定
- ヲ以テ最モ急務ト思料ス

(三) 廣 島 縣

一、妊婦、産婦ノ衛生及育兒法ノ講習又ハ講話ノ開催

現ニ當廳ニ産婆兼看護婦ノ資格アル技術員ヲ置キ常ニ各郡ニ於ケル町村ヲ巡回シ一般ノ婦女ニ對シ妊婦、産婦ノ衛生及育兒法ノ講習又ハ講話ヲ爲サシメツツアルカ將來一層其ノ必要ヲ認ム

二、新式産婆ノ扶植

産婆ノ不足ナル農村ニ對シ新式産婆扶植ノ方法トシテ公設産婆ヲ置カシメ又ハ村費補助ヲ爲シテ産婆ヲ開業セシムルコトヲ奨励シ之ヲ實施シタル町村ニ對シ相當ノ縣費補助ヲ爲シツツアルカ今後一層其ノ必要ヲ認ム

三、家庭看護法講習會開催

農村ニ於テハ冬季ニ於ケル感冒性病患及夏季ニ於ケル消化器系病患ノ爲最多數ノ死亡者ヲ出シツツアルハ統計上極メテ明瞭ナル事實ニシテ其ノ中ニハ看護法ノ不適當ナルニ依リ之ヲ救フノ途アルニモ拘ラス死ニ至ラシメタルモノ多數アルニ鑑ミ既ニ多年前項ノ技術員ヲ巡回セシメ一般婦女ニ對シ家庭ニ於テ必要ナル看護法ヲ講習セシメツツアルカ將來益々其ノ必要ヲ認ム

四、寄生蟲ノ驅除

農村ニ於ケル保健状態ト寄生蟲トノ關係ハ重要ナル問題タルヲ失ハス故ニ本縣ニ於テハ毎年多數ノ町村ニ對シ蛔蟲又ハ十二指腸蟲ノ検査竝ニ驅除ヲ施行セシメツツアルモ今後一層廣キ範圍ニ於テ着實行シ之カ普及徹底ノ必要アルヲ認ム

五、飲料水ノ検査及改善

本縣下ニ於ケル飲料水ノ検査及改善ヲ實施シタル範圍ハ狭少ナリト雖縣ハ町村ニ對シ奨励金ヲ交付シテ其ノ改善ヲ促シツツアリ將來一層其ノ必要アルヲ認ムルト同時ニ工費五千圓未滿給水人口千人未滿ノ輕易ナル簡易水道ハ水道條例ノ範圍外トシテ取扱フコトニ改メラレムコトヲ望ム

六、榮養ノ普及

近時農村民一般ノ體格著シク不良ニ趣キツツアルノ傾向ヲ示セリ畢竟榮養ノ攝取不充分ナルニ原因スルモノト認メラルルカ故ニ左ノ方法ニ依リ榮養ノ思想向上ヲ圖ルノ必要ヲ認ム

## 一、講習會ノ開催

本省ニ於テハ府縣衛生技術官、中等學校ノ生理衛生擔任教員、府縣農會技術員等ヲ招集シ府縣ハ郡市町村吏員、郡農會技術員、小學校教員、衛生組合役員等農村ノ指導者タルヘキモノニ對シ講習會ヲ開催シ本省ニ於ケル適當ナル講師ノ講演ヲ聽講セシムルコト  
郡又ハ町村ニ於テハ隨時青年會員、處女會員、婦人會員、其ノ他一般町村住民ニ對シ講習會又ハ講話會ヲ開催シ府縣技術員ヲ講師トシテ派遣スルコト

## 二、印刷物ノ配付若ハ揭示

各種食料品ノ分析表ニ各榮養成分ノ身體ニ及ホス關係等榮養上ノ必要ナル事項ヲ記シタル印刷物ヲ作り公費ヲ以テ之ヲ各戸ニ配付スルカ又ハ樞要ノ場所ニ之ヲ揭示シテ一般ノ注意ヲ喚起セシムルコト

## 三、養魚、養鶏、養兔、其ノ他畜産ノ獎勵

農商務省ニ於テ養魚、養鶏、養兔、其ノ他ノ畜産ヲ獎勵シ之カ經營者ニ對シ特ニ原種ノ交付、其ノ他ノ便宜ヲ與ヘ且指導ノ方法ヲ講スルト同時ニ榮養食料品ノ供給ヲ豊富ナラシムルノ心要ヲ認ム

## 七、住宅(宅地ヲ含ム)改善ノ宣傳

換氣、採光、排水等ニ適當ナラシムル様住宅ヲ改善スルノ必要ヲ講話又ハ印刷物ノ配付、揭示ニ依リ廣ク宣傳スルノ必要アルヲ認ム

## 八、衛生組合法ノ制定ト組合ノ活動促進

一、各般ノ衛生施設ヲ普及シ且之カ徹底的實行ヲ期セムニハ衛生最低機關タル衛生組合ノ活動ヲ促進スルヲ以テ其ノ根本義ナリト認ム故ニ各府縣共通ナル中央法令ヲ以テ衛生組合法ヲ制定シ各町村ニ若干ノ衛生組合ヲ強制設置セシメ之ヲ統一スルコト

二、組合ノ役員ハ郡長又ハ警察官署長ノ指導獎勵ノ下ニ有能ナル適任者ヲ選舉セシメ其ノ申請ニ依リテ地方長官之ヲ任命シ且其ノ組合費ヲ以テ毎月相當ノ手當ヲ支給スルコトトシ役員ノ責任觀念ヲ作興スルコト

三、組合ハ法人ト爲シ必要ナル組合費ハ組合員ノ負擔トシ且之カ徵收ニ關シ特權ヲ附與スルコト  
四、町村ハ組合ノ縣ハ町村ノ國府ハ縣ノ支出額ニ對シ全部若ハ四分ノ一以上ヲ補助スルノ制ヲ設クルコト

五、組合ノ事業ハ防疫保健其ノ他衛生上各般ニ互リ之ヲ施行セシメ事業ノ制限ヲ爲ササルコト

六、郡若ハ縣ニ於テ毎年ノ成績優良ナル衛生組合ヲ表彰シテ其ノ活動ヲ獎勵スルコト

七、郡ニ各聯合衛生組合會ヲ組織セシメ隨時機宜適切ナル施行事業ノ統一の指導ト其實行ヲ督勵ス

八、組合ノ事業ニ對シ知事ニ命令權ヲ附與スルコト

九、花柳病豫防

毎年壯丁検査ノ成績ニ徴スルニ近時農村壯丁ニシテ花柳病ニ侵サルル者都市ノ夫ニ比シ殆ト差異ナキモノアリ否寧ロ一層不良ナル成績ヲ示シ年ヲ重ヌル毎ニ漸惡ノ傾向アルモノ尠カラス故ニ大要左ノ如キ豫防施設ノ緊要ナルヲ認ム

一、娼妓検査其ノ他

イ、娼妓ノ検査期日ヲ可及的頻繁ナラシメ且検査ヲ嚴密ニシ發見シタル患者ノ入退院ヲ最モ嚴重ニ之ヲ行フコト

ロ、貸座敷營業者ヲシテ娼妓ハ勿論遊客ニ對スル局部洗滌所ヲ設ケシメ且豫防器具藥品等ノ使用ニ便セシムヘク設備シ其ノ實行ヲ勸誘セシムルコト

二、保健組合ノ設置

イ、警察官署所轄區域ニ於テ接客從業婦ヲシテ保健組合ヲ組織セシメ土地ノ狀況其ノ他ヲ參酌シテ毎月一回以上定期ニ警察官署長ノ指定シタル醫師ヲシテ検査セシメ適宜警察署ヲシテ之ヲ監督セシムルコト

ロ、組合ヲ營業者ノ自衛心ヲ喚起セシメ自發的ニ之カ設置ヲ普及スルコトト爲シ強制的、威壓的手段ハ之ヲ避ケ實質上優良ナル成績ヲ擧ケシムルコト

ハ、検査方法ハ接客從業婦ノ業態年齢竝ニ土地ノ狀況其ノ他ニ應シ上半身ト全身(局部ヲ含ム)トノ二種ニシテ之ヲ行フコト

ニ、接客從業婦疾病ヲ自覺シタルトキハ何時ニテモ適宜醫師ノ診察ヲ受クルコトヲ得ルノ方法ヲ設クルコト

ホ、検査費及検査ニ依リ發見シタル患者竝ニ自覺疾病ノ治療費ハ勿論其ノ他組合費全部ヲ從業婦ノ雇主又ハ抱主ノ負擔タラシムルコト

ヘ、接客從業婦從業場所ニハ局部洗滌器具、洗滌液、消毒藥品等ノ豫防上必要ナル設備ヲ爲シ從業婦ハ勿論一般ノ來客ニ對シ其ノ使用方法ノ周知ヲ圖ルコト

ト、土地ノ關係其ノ他ノ事情ノ許ス限り可成適當ノ場所ニ一定ノ治療所ヲ設ケ治療ヲ完カラシムルコト

十、其ノ他汚物ノ取扱方改善

取扱後直ニ施肥スルコトナク一定ノ期間肥料溜ニ貯ヘ之ヲ腐熟セシメタル上之ヲ使用セシメ以テ消化器系傳染病及寄生蟲病ヲ豫防スルノ要アリ又住屋内ノ一隅ニ塵芥其ノ他不潔物ヲ取集メ堆肥ヲ